

# 献 辞

長年にわたり関西大学商学部、および商学会のために尽くされた中辻卯一先生は、1997年4月28日めでたく古稀の寿を迎えられました。

商都大阪にて生を受けられた先生は、旧制天王寺中学校、旧制浪速高等学校を経て、関西大学経済学部、同大学大学院経済研究科に学ばれた後、1959年4月本商学部助手として任用され、専任講師、助教授を経て1972年4月教授に昇進、現在に至っております。その間、教育、研究の面はいうまでもなく、大学および学部の運営に関しても、多大の貢献をされてこられました。1981年10月から1年間商学部長を務められた後、1986年4月から2年間は就職部長、1988年からは6年間の長きにわたり情報処理センター所長を務められるなど、大学全体に関わる要職を歴任されております。

本商学部では、社会の情報化の進展に伴って重要になってきた情報教育の担い手として「経営情報論」を長年にわたり担当され、実業界あるいは学界に数多の俊英を送り出されてこられました。企業経営と情報化に関しての多方面にわたる研鑽の成果は、幾多の著書論文をもって世に問われ、斯界での高い評価を受けております。それとともに、オフィス・オートメーション学会の常任理事など学会の要職を歴任されて、斯学の発展に大いに寄与されてこられました。

先生は、何事にも手を抜くことを知らず、エネルギーに立ち向かわれ、会議では張りのある良く通る声で議論をリードされ、教室では無気力に陥りがちな学生達をも勉学に向けて奮い立たせてこられました。

先生は、1998年3月末をもって関西大学を定年退職されることになりましたが、今後ともますますご健勝にして、商学部、商学会の発展のために、ご指導、ご鞭撻いただくようお願いしております。私たちは、ここに先生の古稀を記念して『商学論集』の特集号を刊行し、足跡を回顧いたしますとともに、心からの感謝の意を表します。

1997年8月10日

商学部長 永 沼 博 道